



PD「医療従事者と患者会の座談会」 パーキンソン病患者の 日常生活の質の向上のために



●司会

平峯 寿夫 氏

Hisao Hiramine

全国パーキンソン病友の会東京都支部長

進行期パーキンソン病（PD）の患者はどのように治療に向き合えばよいのか、そして人生を充実させるにはどうすればよいのか。PD患者は治療を受けて、QOLを向上させるために日々努力をしている。現在、PDの治療は症状を抑制する薬物治療が中心であるが、患者はただ漫然と薬物治療を受けているだけではなく、「心・技・体」という言葉に集約される治療に対する向き合い方を実践することが大切だという。今回は全国パーキンソン病友の会東京都支部の研修旅行で行われた座談会の模様をお届けし、患者の方々の経験を通じて治療への向き合い方や考え方をお伝えする。



林 栄一 氏

Eiichi Hayashi

全国パーキンソン病友の会
東京都支部



檜垣 朋子 氏

Tomoko Higaki

全国パーキンソン病友の会
神奈川県支部 事務局長



増子由紀子 氏

Yukiko Masuko

全国パーキンソン病友の会
東京都支部



山口 洋子 氏

Yoko Yamaguchi

全国パーキンソン病友の会
東京都支部